第三講　言いかえの連続に注目（随筆編）

その１　《随筆》　テーマ「人間の背中」

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

待ち合わせ場所にすでに相手が到着していて、しかもそのひとが後ろ向きに立っていたような場合、一瞬、どんなふうに声をかけようかと、迷いながら［A］からそのひとに近づいていく。

前からだったら、目と目があえば、それで済(す)む。待った？　久しぶりね、さあ、行こう――会話は船のように自然と進む。ヒトの無防備な背中を前にすると、なぜか言葉を失ってしまう。つきあってきたのは、どのひととも、彼らの［B］ばかりのような気がして、C心もとなく、背中を眺めやる。

そのひとが、Dくるっと後ろを振り向けば、ただちにわたしは、そのひとの世界に合流できるのに、後ろ姿は、閉ざされた扉(とびら)だ。

そのままわたしが行きすぎれば、そのひととわたしは永遠に交わらないまま、これを最後に別れてしまうかもしれない。待ち合わせの約束を、一方的に破棄(はき)するのだから、これは裏切りだが、出会うことは常におそろしい衝突(しょうとつ)でもあるから、衝突をさけて、ひとの背後を、ひたすら逃げ続けるという生き方もある。例えば、犯罪者か逃亡者のように。

そういう考えが、ひとの背を見ながら、わたしのなかにEひょこっと現れる。そのことはわたしを、少し驚かす。わたしは何かを恐れている。

そもそも背中は、そのひとの無意識が、あふれているように感じられる場所である。だから、誰かの後ろ姿を見るとき、見てはならないものを見たようで、F後ろめたい感じを覚えることもある。

（小池昌代(こいけまさよ)「背・背なか・背後」）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問１　空欄 A ・ B にあてはまる語句として最も適当なものを、それぞれ次の中から選び記号で答えなさい。

①　側面　②　正面　③　背後　④　一定の距離　⑤　仮の姿

問２　傍線部C「心もとなく」の意味の説明として最も適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

①　気のおけない、遠慮のいらない状態。
②　たよりなく、何か不安な状態。
③　気にかかることがない状態。
④　気持ちが焦ってあわてる状態。

問３　傍線部D「くるっと」E「ひょこっと」のような表現技法をなんというか、最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

①　擬人法（ぎじん）　②　擬態語（ぎたい）　③　倒置法（とうち）　④　直喩法（ちょくゆ）

問４　傍線部F「後ろめたい」の意味の説明として最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

①　罪悪感をふりはらうときの積極的な気持ち。
②　自分が悪いことをしているかのような気持ち。
③　相手を後ろから攻撃するときの意地悪な気持ち。
④　相手の後ろ姿に親近感をいだくときの気持ち。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　その１　知識モノ解説

文学史・人物解説

●筆者　小池昌代＝こいけ　まさよ（一九五九～）東京都生まれ。津田塾大学国際関係学科卒。詩人。

語句

無防備＝むぼうび→危険に対するそなえがないこと
心もとない＝こころもとない→頼りなくて不安なこと
後ろめたい＝うしろめたい→自分が悪いことをしているような感じになること。気がとがめること
破棄＝はき→破り捨てる・取り消すこと。他に、約束を破ることを「反故（ほご）にする」という

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　言いかえの連続に注目（随筆編）

その2《随筆》テーマ「子供の心理」

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

むくむくと着ぶくれしてベビーカーにおさまっている赤ん坊が、どうもいま一声発したらしい。「アアアア」と、ただのわめき声ではあるけれども、しかしその母音のつらなりには彼の胸のうちから外部に向かって発信されたメッセージ性が明確に宿っていた。それは、「いま走り去った電車、強烈にかっこよかったなあ！」という思いを伝える、一個の立派なせりふなのだった。

日が落ちかけた晩秋の夕刻、家の近所の踏切前でのできごと。

遮断された踏切前で静かに待っていたぼくら二人の眼前を、夕闇の中から現われた光り輝く急行列車が一気に駆け抜けていく。その轟音と風圧を小さな体全体で受けとめた乳児は、列車を見送りながら感激の念を抑えきれず、くだんの一声をほとばしり出させたわけだった。前にも記したとおり、彼の口から最初に出た意味のある単語は飼い猫の名「ココ」だったが、しかし家の外で、目の前の刺激に対して直接に応答した初の言葉は、この「アアアア」だったと僕は思っている。井の頭線の急行列車が、一歳少し前の乳児を言葉の世界へと力強く誘った。

ジャック・ラカン博士のいわゆる「鏡像段階」に続いて（あるいはそれと並行して）、赤ん坊は自我の形成においてもう一つ、重要な段階を経る。「 A 段階」ないしは「 B 段階」がそれだ。精神分析事典等にはいまだ採録されていない術語ではあるが、少なくともうちの赤ん坊を通し十分に観察したところでは、赤ん坊はまず電車を始めとする大型乗り物を介して社会に目を開き、そこにあふれるパワーとエネルギーに強い憧れを抱く。やがて電車を運行する重責を担うのが運転士と呼ばれる存在であることを知ると、激しい畏敬の念を「運転士さん」（＝うんてんちゃん）に注ぎこみ、たちまち自らを「運転士さん」と同一化するにいたる。運転士さんと化した赤ん坊は以後、自らの日々の暮らしをことごとく鉄道関係用語によって言説化するようになり―― C 何であれずっこけることはすべて、きかんしゃトーマスにならって「脱線（＝だっちぇん）だあー」と表現される、等々――、自分もまた周囲から「運転士さん」として遇されることを望み、喜ぶようになる。かくして赤ん坊は言葉と社

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

会性に目覚め、擬似運転士さんとして自己形成していくのである。

（野崎歓『赤ちゃん教育』）

問１　空欄 A ・ B に入る組み合わせとして最も適当なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

① A 電車　B 乗り物
② A 自動車　B 乗り物
③ A ベビーカー　B 自動車
④ A 乗り物　B 自転車

問２　空欄 C に入ることばとして最も適当なものを次の中から選び記号で答えなさい。

① けれども　② さらに　③ たとえば　④ したがって　⑤ なぜなら

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　その2　知識モノ解説

文学史・人物解説

●筆者　野崎歓＝のざき　かん（一九五九〜）新潟県生まれ。東京大学文学部フランス文学科卒。翻訳家、エッセイスト、東京大学大学院人文社会系研究科教授。本書『赤ちゃん教育』で講談社エッセイ賞受賞。他の著書『翻訳教育』など。

○ジャック・ラカン（一九〇一〜一九八一年）フランスの精神分析学者。

語句

くだんの＝件の→前述したことを読者に指し示すことば。例の、さっきの

鏡像段階＝きょうぞうだんかい→子供の発達で、鏡に映る自分の姿を気にするようになったり、そこに映っているのが自分だとわかる段階

術語＝じゅつご→専門用語。専門的な記述用語。テクニカル・ターム。主語、述語というときの述語とは違うから注意

畏敬＝いけい→偉大なものとしておそれうやまうこと

遇される＝ぐうされる→あつかわれること、対応してもらうこと

疑似＝ぎじ→本物ではない仮想のもの

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第三講

次の傍線部にあたる漢字を、次の選択肢から選びなさい。

（ア）待ち合わせ場所にトウ着する。　①倒　②到　③統　④塔　⑤陶

（イ）相手に無防ビな背中を向ける。　①備　②微　③尾　④眉　⑤鼻

（ウ）約束を一方的に破キする。　①機　②棄　③危　④企　⑤鬼

（エ）自動車が正面からショウ突する。　①衡　②翔　③鍾　④昇　⑤衝

（オ）都市のハン罪発生を抑止する。　①反　②氾　③斑　④犯　⑤範

（カ）急行電車が強レツにかっこいい。　①列　②劣　③裂　④烈　⑤焦

（キ）すばらしい出会いに感ゲキする。　①激　②劇　③撃　④檄　⑤逆

（ク）定時の電車運行の重セキを担う。　①席　②籍　③責　④積　⑤績

（ケ）憧れの運転士にイ敬の念を抱く。　①意　②威　③畏　④偉　⑤異

（コ）飛行機の操縦を擬ジ体験する。　①自　②似　③事　④持　⑤時

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　言いかえの連続に注目（随筆編）

その１　《随筆》　テーマ「人間の背中」

《本文の対比構造》

主役＝背中・後ろ姿

後ろ向き・無防備な背中
言葉を失う・心もとない
閉ざされた扉
その人の無意識があふれている場所
見てはならないものを見たよう
後ろめたい感じ

↕ 主な対比

比較相手＝正面

前から＝目と目があう
会話が進む
そのひとの世界に合流

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

《解説》

問１《空欄補充・選択肢》

Ａ　待ち合わせ場面です。相手が「後ろ向きに立っていたような場合」とあります。これを言いかえて「Ａからそのひとに近づいていく」わけです。さらに「前からだったら」という対比も続きます。したがって③の「背後」です。①の「側面」では、これらの言いかえと対比の軸にのりません。ズレます。④の「一定の距離」も同様にズレています。距離は比較になっていません。⑤の「仮の姿」もズレています。〝本当のすがた⟷仮の姿〟は比較にも言いかえにもなっていません。こういう間違いを正しい対比喪失の誤りといいます。

Ｂ　今度は「背中」の対比、正反対です。あるいは「つきあってきた」なじみの方です。したがって②の「正面」です。

問２《内容説明・語彙力・選択肢》

背中に向かう時の気持ちとして、「迷いながら」「言葉を失ってしまう」「何かを恐れている」などが挙げられています。傍線の「心もとなく」はこれらのグループです。したがって②の「たよりなく、何か不安な状態」が正解です。①の「気のおけない、遠慮のいらない状態」は、〝ハーイ、元気？　イエーイ、今日も楽しくいこうぜい！〟という感じで正反対。③の「気にかかることがない状態」も不安なしですから×。これら①と③は、なじみの「正面」のグループという言い方もできます。対比混乱の誤りということになります。④の「気持ちが焦ってあわてる状態」はなにがおかしいか。本文では、待ち合わせの時間に遅れて、時間的に焦っているわけではないということです。〝時間通りで安心⟷時間に遅れて不安〟という対比ではないということです。正しい対比喪失の誤りです。

問３《表現技法・選択肢》

これら様子や振る舞いを客観的にではなく感覚的（音が聞こえるように、目に見えるよう）に表現する技法を擬態語といいます。雨を表現するとき、一時間当たり二〇〇ミリではなく、ざーざーと雨が降る、体重一〇トンの巨体を時速三キロでではなく、のっしのっしとアフリカゾウが歩くと表現するのも同じ擬態語です。音の表現は、厳密には擬声語・擬音語といいますが、大き

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

くとらえれば擬態語の仲間です。

他のものを解説します。擬人法は、人間でないものを人間であるかのように表現する技法。例えば、〝お花畑がほほえんでいる〟〝チューリップがコーラスしている〟など。倒置法は、主語述語や飾ることばと飾られることばの順番を変える技法。〝一人でなしとげたのです、彼が〟〝おいしいサラダ・ドレッシングだ、とても〟など。順番を変えて、強調する表現技法です。直喩は、「まるで」「ように」などを付けて、何を何にたとえているのか直接明らかになるようにした比喩です。〝まるで米つぶのような小さな文字だ〟など。

問４《語彙力・選択肢》

直前の「見てはならないものを見たようで」の言いかえで、罪悪感、気がとがめるといった気持ちです。したがって、②の「自分が悪いことをしているかのような気持ち」が正解です。①の「罪悪感をふりはらう」では正反対です。③の「相手を後ろから攻撃するときの意地悪な気持ち」では、まったく罪悪感のかけらもありません。④の「相手の後ろ姿に親近感をいだくときの気持ち」はどうでしょう。親近感はむしろ、正面ですね。対比混乱の誤りです。

模範解答

問１　Ａ＝③　Ｂ＝②　問２＝②　問３＝②　問４＝②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　言いかえの連続に注目（随筆編）

その２《随筆》テーマ「子供の心理」

《本文の対比構造》

主役＝子供の発達段階について新名称の提案

「電車段階」「乗り物段階」

電車を始めとする大型乗り物を介して社会に目を開く

（例）井の頭線の急行列車が、一歳少し前の乳児を言葉の世界へと力強く誘った

主な対比

比較相手＝一般的な精神分析学用語

ジャック・ラカン博士の「鏡像段階」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

《解説》

問１《空欄補充・選択肢》

「「A段階」ないしは「B段階」」となっています。「ないしは」は「あるいは・または・ないし」と同じで言いかえを挙げる言葉です。つまり、まずAとBが言いかえ関係、似た言葉になります。続いて空欄直後には「赤ん坊はまず電車を始めとする大型乗り物を介して社会に目を開き、そこにあふれるパワーとエネルギーに強い憧れを抱く」とあります。さらにこの文章全体が、電車を通して「言葉と社会性」が引き出される様子をユーモラスに描いています。したがって、①の「A　電車　B　乗り物」に決まります。②と③の「自動車」や④の「自転車」は出てきませんし、「脱線だあー」とも結びつきません。

問２《空欄補充・接続語・選択肢》

空欄直前の「運転士さんと化した赤ん坊は以後、自らの日々の暮らしをことごとく鉄道関係用語によって言説化するようになり」を具体的に言いかえて、「何であれずっこけることはすべて、きかんしゃトーマスにならって「脱線（＝だっちぇん）だあー」と表現される、等々」としています。そうです、具体例を導く接続語ですから、③の「たとえば」と決まります。

模範解答

問１＝①　問２＝③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第三講　模範解答

（ア）②　（イ）①　（ウ）②　（エ）⑤　（オ）④
（カ）④　（キ）①　（ク）③　（ケ）③　（コ）②

解答漢字一覧

（ア）到着　（イ）無防備　（ウ）破棄　（エ）衝突　（オ）犯罪
（カ）強烈　（キ）感激　（ク）重責　（ケ）畏敬　（コ）擬似

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。